

黒田庄まちづくり協議会より

<JR加古川線(西脇市駅—谷川駅)維持・利用促進 地域協議会活動報告>

昨年の6月30日に丹波市立山南住民センターに於いて、黒田庄まちづくり協議会・比延地区自治協議会・久下自治振興会の3団体で、JR加古川線(西脇市駅—谷川駅)維持・利用促進地域協議会の設立会を開催し、令和6年度事業計画に基づき活動しています。

まず、「地域で残そう みんなの加古川線」と記載した横断幕を10枚作製し、各協議会等に3枚ずつ配付しており、黒田庄まちづくり協議会は、黒っこプラザのフェンス、JAみのり黒田庄支店前の黒っこふれあい広場のフェンス、畑瀬信号横のフェンスの3箇所に設置しています。

また、各協議会等でJR加古川線利用促進のためのイベントの開催やJR加古川線(西脇市駅—谷川駅)維持・利用促進地域協議会のPRとして、後日、西脇市・丹波市にPRチラシを全戸配布することになっています。

<インドヨガ教室受講生募集>

インドヨガ教室を毎週木曜日の夜に黒っこプラザで開催しています。

ヨガは心身の緊張をほぐし、心の安定と安らぎが得られ、健康と美容に効果があります。

令和7年4月からのインドヨガ教室の受講生を募集しておりますので、受講を希望される方は、下記へお申込みください。

【日 時】 毎週木曜日 午後7時30分～午後8時30分

【場 所】 西脇市コミュニティセンター黒田庄地区会館(黒っこプラザ)

【受講料】 月 3,000円(毎月、第1回目に徴収)

【持ち物】 ヨガマット・動きやすい服装

【問合せ・申込先】 黒田庄まちづくり協議会 電話 28-2121

<パソコン教室受講生募集>

パソコン上手になりませんか? 以前は使っていたけれど、少し離れたら使い方が分からないと思っている方。また興味のある方等。参加申し込みをお待ちしております。

【日 時】 毎月 第1・第3水曜日 午前9時30分～午前11時30分

【場 所】 西脇市コミュニティセンター黒田庄地区会館(黒っこプラザ)

【内 容】 ワード・エクセル

【受講料】 月 2,000円(毎月、第1回目に徴収)

【定 員】 若干名(継続受講生以外)

【申込み】 3月14日(金)までに下記へお申込みください。

(定員になり次第締め切りさせていただきます。)

【問合せ・申込先】 西脇市コミュニティセンター黒田庄地区会館
(黒っこプラザ) 電話 28-2121



第222号2月



編集・発行
黒田庄まちづくり協議会
西脇市黒田庄町前坂2140番地
☎ 28-2121
令和7年2月15日発行



黒田庄地区の人口
(R7.2.1現在)
男 2,892
女 3,131
計 6,023
世帯数 2,621
人口前月比 (-20)

(2)

★北播磨の熊野古道(荘厳寺)★



黒田庄町黒田は、緩やかな傾斜になっている扇状地の集落です。そのいちばん東の端、登山コースにもなっている白山の麓に鎮座しているのが、白雉年間(650年代)に法道仙人の開基と伝えられる古刹の荘厳寺です。駐車場がある持仏堂の脇から本堂までは、杉木立の中を、苔むした石段の参道が約300メートル続いています。和歌山県に残っている世界遺産の熊野古道に勝るとも劣らない、趣のある雰囲気醸し出しています。参道の脇にはその昔、十か所ほど宿坊があったそうです。今は杉林になっていてかつての面影はありませんが、林の中に石垣が現存し、往時の名残をとどめています。

この参道を登りきると鐘楼があり、そこからさらに石の階段を登ると、本堂(観音堂)が現れます。平成の大修復で、屋根は長寿命のチタン葺きになりました。木造の古い建物に不思議とよくマッチしています。

本堂の南側には、檜皮葺きの多宝塔が優美な姿でたたずんでいます。最初は鎌倉時代に建立され、焼失後1711年に再建とされています。普段は中を見ることができませんが、昨年の11月には多宝塔についての講演会や内部拝観がおこなわれ、多くのファンが見学に訪れました。このあたりはもみじが美しく、夏は新緑の青葉、秋は紅葉が彩りを添える「映えスポット」です。

多宝塔から石段を下りたところに、小さめのお社がまつられています。1708年(宝永5年)の建立とされる三社八幡宮で、実はその中の一つが熊野三社権現です。ちゃんと熊野権現がまつられているのですから、本堂までの石段の参道を熊野古道と名乗っても、必ずしも「偽装」とは言えないのです。ちなみに本堂、多宝塔と三社八幡宮は、県指定重要有形文化財になっています。

また荘厳寺には、黒田官兵衛が黒田の地で生まれたとされる黒田家の系図が伝わっており、資料館も併設されています。JR本黒田駅から荘厳寺まで散策すると、黒田官兵衛が生まれた住居跡とされる「姥が懐」や黒田城址、「黒田官兵衛生誕の里」の石碑など、黒田官兵衛にゆかりのある見どころが点在しています。北播磨の熊野古道も一見に如かず。ぜひお越しください。

(写真は昨年11月の官兵衛まつりの時のものです。)

★護摩焚きのご案内★

地域振興の一環として、昨年より石原有志で実施しています柴燈護摩供(さいとうごまく)を、本年も執り行います。この度は、黒田庄町内の皆さまにも汎(ひろ)く知っていただくために、ご案内を差し上げております。

柴燈護摩供とは、一年の平穏無事を護摩木に託して炊き上げる荘厳な催事です。年に一度の希少な催しですので、是非お越し下さい。

なお、当日はぜんざいのふるまいがございます。

日時：令和7年3月23日(日) ※雨天・強風中止
他、都合により順延となる場合もございます。
12時半より受付、13時より開始いたします。

場所：桜丘小学校運動場の裏手
(圓福寺水ノ尾観音堂前)

駐車場：桜丘小学校の運動場を開放いたします。
焼却炉跡の脇にある橋を渡って、ご来場ください。



昨年の様子です。
20名余りの方にお集り
いただきました。

於 圓福寺



＜黒田庄こども園ニュース＞

《鬼はそと～！福はうち～！》

2月3日(月)は遊戯室に集まり節分行事を楽しみました。歌やダンスの後、赤鬼、青鬼の登場です！！新聞紙を固く丸めた「豆」をなげて追い出し、福を呼び込みます。あわせて、心の中にあるオニ(泣き虫オニ・怒りんぼオニなど)も追い出してしまいます。涙ながらに「鬼はそと！」と豆をなげる子や、捕まりそうになっている先生を助けようと鬼に立ち向かう子など頼もしい姿が多く見られました。最後には鬼が降参して、仲良く握手！！「小学校にも来てね！」と来年の約束をする年長児もいました。お昼は節分メニュー、おやつにはおにさんクッキーをいただきました。



歌「まめまき」



パネルシアター
「おにはどこだ」



太鼓の音とともに、赤鬼と
青鬼登場！！



《節分メニュー》
キンパ つくね 大豆サラ
ダ かみなり汁
いちご
《おやつ》
おにさんクッキー



《共に手を取り合い見守っていきましょう》

市内子育て支援サークルの「マザーズスマイル」と「リンクスマイル」の皆さんには、園内の学びに大きな力をいただいています。

昨年6月から今年1月にかけては、各学年ごとの親子を対象に、睡眠や食育、生活習慣等の学びの場を作っていました。

また10月から12月にかけては、音楽コンサートの開催や、「すまいるどうぶつえん」のお話で、クイズをしたり歌に合わせて体を動かしたり、子どもたち大喜びの催しを行っていただきました。園の教育・保育活動を力強く支えていただき、心より感謝申し上げます。



園庭開放と子育て相談についてのお知らせ

- ☆園庭開放・・・楽しい遊具や砂場などで元気に遊んでほしいと思います。
毎週水曜日 14:30～16:00
来園される時は、事前にお電話にて連絡ください。
- ☆育児相談・・・子育て等でご相談がありましたら、どんな些細なことでも構いませんので、お気軽にお電話ください。
- ☆対象・・・未就園の親子・地域の皆さま

(4)

〈市民グループ One Action〉(黒田庄まちづくり協議会構成団体) 第6回 黒田庄ウィンターイルミネーションの活動報告

1. 活動

私たちは、黒田庄全体で1つアクションを起こすことが、赤ちゃんから年配の方まで笑顔が増えると信じて活動しています。具体的には、12月から1月までの2ヶ月間、暖色系のイルミネーションを点灯するという活動を行って今年度で6回目となりました。今回もまちづくり協議会(まち協)の観光・特産部会の方々のご協力により、黒っこプラザ西側のフェンス・駐車場とあつまっ亭の軒下にイルミネーションの設置と撤収をして頂きました。そして、暖色系のイルミネーションを設置し応募して下さった方の中から抽選で2名様にまち協より頂いた

「へその街にしわき共通商品券」をちびサンタとおじサンタがお渡ししています。また各自治会がイルミネーションを設置する場合にまち協より助成(上限3万円)があり、今年度は、喜多地区、石原地区、津万井地区、大伏地区がさらにバージョンアップし、加えて船町地区がイルミネーションを設置して下さいました。他にも応募はされずに毎年継続してイルミネーションを点灯して下さいました。ご協力して下さいました皆様、寒空の下でイルミネーションの設置や撤去等して下さい有り難うございました。

「へその街にしわき共通商品券」当選者
金賞 1万円分
ダブルツリー様 ツノナリエ様 (順不同)



2. ご協力者(順不同)

廣田歯科医院 黒田庄こども園 村上クリニック 大山記念病院 あつまっ亭 船坂邸 藤原電業社 黒田庄まちづくり協議会

3. 最後に

令和元年より2軒で始めたイルミネーションの活動が今年度で6回目となりました。参加される自治会が5地区に増えた一方で、今年度の申込みはわずか3軒(自治体は除く)に留まりました。来年度は、少しでも多くの方がイルミネーションを通してクリスマスや年末年始を楽しんで頂けるよう、広報や取り組みに工夫したいと思います。

次回も温かな想いと光が黒田庄の一隅を照らし、サンタや正月を楽しみにする乳幼児から徒歩・自転車で帰路に向かう学生、また帰宅の途につくママ・パパ、仕事終わりの方や年配の方々まで、少しでもほっこりする瞬間になればと思っています。



編集後記

暦の上では、春の始まりですが、一年で最も寒さが厳しい季節です。

感染症、風邪、インフルエンザ等に負けず、予防に気を配りながら、元気にお過ごし下さい、

Y.M